

実際にかこう

1 用意するもの

画用紙 (四つ切り)



色えんぴつ



マーカー



えんぴつ

2 下書きをしよう

メモで整理した情報や、文字の大きさ、イラストや写真などが画面にうまくおさまるように、下書き用の用紙にデザインをしよう。下書きの時点では、アイデアはひとつにしぼらず、いくつか候補を出しておこう。

- ★文字は縦書き？ 横書き？
 - ★イラストの内容
 - ★色づかい
 - ★ポスターにのせる情報
 - ★使いたい画材
- などについて考えてみよう！



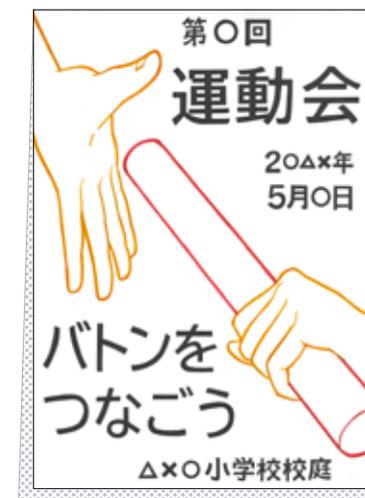
3 清書をしよう

1 文字を書く (レタリング p.12.13)



遠くからでも文字が見えやすいように書こう。とくに伝えたい部分の文字を大きく書くと、画面にメリハリを出すことができるよ。

2 ざっくりと絵をかこう



ぬりたい色を考えたら、絵の大きな線をひこう。このときフチをぬって、輪郭をはっきりさせておくと、きれいに見えるよ。

3 仕上げる



絵に色をぬっていきこう。色えんぴつを使う人は、光の入る部分はあえて色をぬらずに白ぬきしたり、基本の色よりも濃い色で影をえがいたりすると、より立体的に見えるよ。

4 背景をぬる



かんせい 完成!

最後に、背景に色をぬろう。文字のまわりは色をぬらずにおくと、文字がうき出て読みやすくなるよ。色や明るさを段階的に変える(グラデーション)と絵に奥行きが出るよ。

レタリングをしよう

1 レタリングってなに？

文字をただ書くだけではなく、文字の形をデザインすることを「レタリング」というよ。同じ内容でも、文字の形や太さ、大きさによって、ポスターの印象を大きく変えることができるよ。



書体例 ①

明朝体

新聞や書籍などに多く使われていて、読みつかれにくい書体（文字の形）です。中国でも昔から使われています。

書体例 ②

ゴシック体

文字の太さが同じで、かざりのない文字です。読みやすく、太くすると印象が強くなります。

2 レタリングの方法

レタリングをするには、「フリーハンド（手書き）」と「トレース」の2通りの方法があるよ。自分がやりやすい、または、やりたい表現に合う方法を選んで、レタリングをしてみよう。

3 レタリングの準備

どちらの方法の場合でも、書体の例が必要だよ。「フリーハンド」で書く人は、タブレットの画面などに打った文字を見ながら、まねして書こう。「トレース」で書く人は、使いたい文字と同じ大きさになるように、書体を印刷したコピー用紙を用意しよう。

運動会

運動会

4 準備するもの



① トレース



ぬりつぶし

書体を印刷した紙を裏返しにして、2B～4Bほどの濃いえんぴつで、文字の裏側をぬりつぶそう。

②



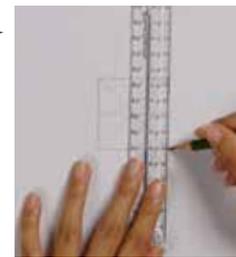
転写

ぬりつぶした面を清潔用の画用紙にあてて、2H～Bほどのかたさのえんぴつで、輪郭を転写しよう。このとき、直線の部分は定規を使おう。

⑤

フリーハンド

①



枠づくり

方眼用紙に、えんぴつと定規を使って、書きたい大きさの、正方形の枠を書き、角と角（対角線）を直線でむすぼう。

②



骨組み

お手本の書体を見ながら、枠の中に、文字の骨組みを書こう。

③



肉付け

骨組みのまわりに、肉付けをしていこう。手で大きめに書けたら、直線の部分は定規を使おう。

④



ぬりつぶし

書体を書いた方眼用紙を裏返しにして、2B～4Bほどの濃いえんぴつで、文字の裏側をぬりつぶそう。

③



色ぬり

マーカーを使って、内側に色をぬろう。このとき、黒以外の色でぬってもよいよ。輪郭や角の部分は、ペン先がかたく、細いものでぬろう。

⑥



主要なメーカーから出ている黒マーカーの太さと質感を比較したよ！

かんせい 完成!

読書ポスターをつくらう

キーンコーン

今日はみんなに、好きな本を紹介してほしいです!

どうやって本の紹介をするの?

せっかだから、この前覚えたポスターの作り方をもとに、本をポスターで紹介するのはどう?

いいね! それでは、まずは本を選ぼうか!

感動したり、ためになったと思う本を選ぼうと思うよ!

その中から、心にひびいた文をぬき出して紹介してみようかな!

本の感想をみんなと話し合うことで、読んだことがなかった本に興味を持ったり、思いつかなかった、本にこめられたメッセージに気がついたりすることがあるよ!

はーい!!

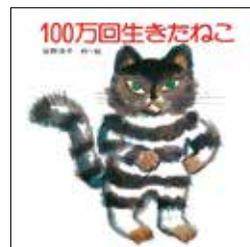


ポスターは、本を読んだ感想や、感動の気持ちを伝えることもできます。本の内容を知らない人にも興味を持ってもらえるような、ポスターをつくりましょう。

紹介する本を選ぼう

命の大切さを教えてくれたり、大切なことに気づかせてくれたりするおすすめの本を紹介するよ。選ぶ本になやんだときは、ぜひ読んでみてね。

100万回生きたねこ



作・絵 佐野洋子 発売・講談社
100万回も死んで、100万回も生きたねこがいました。しかし、ねこは1回も泣いたことがありません。あるときねこは、白くて美しい1匹のねこに出会います。

海のいのち

作・立松和平 / 絵・伊勢英子
発売・ポプラ社
父の命をうばった、巨大な魚を追うために、漁師を目指す太一。やがて村一番の漁師として立派に成長した太一は、海の中で父のかたきである、巨大な魚に出会います。



モチモチの木



作・斎藤隆介 / 絵・滝平二郎
発売・岩崎書店
豆太は5歳になっても、おじさんがいなければ、夜中にトイレに行くことができないほど臆病です。そんなある日、おじさんが夜中に、お腹がいたくて苦しそうにしています。

はだしのゲン

作・中沢啓治 発売・汐文社
ゲンとは2年生のわんぱくざかり。ゲンは、父と母と姉と弟に囲まれて、まずいながらも幸せに暮らしていました。しかし8月6日、広島に原爆が投下され、一家の生活は破壊されてしまいます。

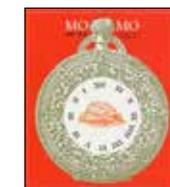


銀河鉄道の夜



作・宮沢賢治 発売・新潮社
ジョバンニは、アルバイトをしながら病気の母を看病しています。星祭の夜、ひとり星を見るジョバンニ。するとどこからか「銀河ステーション…」と聞こえてきます。

MOMO



作・ミヒヤエル・エンデ
発売・岩波書店
とある街に、モモという少女が住み着きました。街の住人たちは、みんなで彼女の面倒を見ることにします。そんなある日、街に時間泥棒がやってきて、人々の「時間」をうばって行ってしまいます。

はっぴょう ポスターで発表しよう



ポスターは、はるだけではなく、発表にも使えます。
発表を聞いている人に、本を読みたいと思ってもらえるように
つくったポスターを見せながら、工夫して発表してみましょう。

はっぴょう ほん しょうかい 発表で本を紹介しよう

1 おすすめの本を紹介しよう

発表をする人も、聞く人にも、大切なポイントがあるよ。発表をするときは、ポスターを読み上げるのではなく、メモをもとにして、「この本を読んでもらいたい」という思いが伝わるように、話し方を工夫しよう。発表を聞く人も、発表している人の工夫に注目しながら聞こう。

1 はっぴょう ひと 発表する人

- 立ち方**
背筋をしっかりとのばそう。
- 見る方向**
伝える相手のことを見ながら。
- 話し方**
大切な言葉はゆっくり言おう。

2 はっぴょう き ひと 発表を聞く人

- メモをとる**
相手が伝えたいことを考えながらメモをとろう。
- 評価**
よいところや、よりよくなりそうなポイントを見つけよう。

2 はっぴょう お 発表が終わったら

発表が終わったら、それぞれのポスターの内容や、発表のよかったところ、もっとよくなりそうだと
思った部分を伝え合おう。感想を伝え合うことで、
次の発表に活かそう。

